



2023年5月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年7月14日
東

上場会社名 室町ケミカル株式会社 上場取引所
 コード番号 4885 URL <https://www.muro-chem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 淳一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 井内 聡 (TEL) 0944-41-2131
 定時株主総会開催予定日 2023年8月25日 配当支払開始予定日 2023年8月28日
 有価証券報告書提出予定日 2023年8月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期の業績 (2022年6月1日～2023年5月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期	6,291	10.7	369	△15.5	350	△17.1	256	△43.8
2022年5月期	5,681	14.9	437	18.4	423	24.7	456	152.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年5月期	67.94	64.12	14.3	7.2	5.9
2022年5月期	123.79	112.56	30.3	9.0	7.7

(参考) 持分法投資損益 2023年5月期 一百万円 2022年5月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期	4,948	1,915	38.7	487.25
2022年5月期	4,798	1,681	35.0	450.37

(参考) 自己資本 2023年5月期 1,915百万円 2022年5月期 1,681百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年5月期	317	△162	△172	852
2022年5月期	524	△176	△483	865

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年5月期	—	0.00	—	19.00	19.00	70	15.3	4.7
2023年5月期	—	0.00	—	19.00	19.00	74	28.0	4.1
2024年5月期(予想)	—	0.00	—	19.00	19.00		24.2	

3. 2024年5月期の業績予想 (2023年5月1日～2024年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,000	△3.9	150	△33.5	140	△32.7	140	△6.2	35.53
通期	6,400	1.7	400	8.3	380	8.3	310	21.0	78.68

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期	4,095,500 株	2022年5月期	4,095,500 株
② 期末自己株式数	2023年5月期	165,276 株	2022年5月期	362,850 株
③ 期中平均株式数	2023年5月期	3,772,437 株	2022年5月期	3,685,714 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(持分法損益等)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限が緩和され、経済社会活動の正常化が進むに従い、緩やかに持ち直す傾向にありました。一方、世界経済においては、ウクライナ情勢の長期化や燃料価格及び原材料価格の高騰を受け、インフレの進行や金融引き締めが景気減速のリスクとして顕在化してきました。このような世界情勢を背景とした不安定な為替相場及び円安傾向は、わが国におけるエネルギー・原料価格の高騰に拍車をかけ、わが国経済の先行きは不透明さを増しつつあります。

このような状況の下、当社は「健康」と「環境」をテーマに社会に貢献するべく、「中期経営計画2025」の実現に向け、開発強化や収益性改善に取り組んでまいりました。

その結果、当事業年度における経営成績は、売上高6,291,379千円と前年同期と比べ610,279千円(10.7%増)の増収、営業利益369,413千円と前年同期と比べ67,928千円(15.5%減)の減益、経常利益350,890千円と前年同期と比べ72,151千円(17.1%減)の減益、当期純利益は256,302千円と前年同期に比べ199,970千円(43.8%減)の減益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① 医薬品事業

輸入原薬においては、主力商品である抗てんかん用原薬を中心として、売上数量が増加しました。また、原料価格高騰に伴う販売価格の見直しが進んだことにより、売上額も大きく増加しました。新規の加工案件や受託合成案件の獲得も順調に推移しました。

その結果、医薬品事業における売上高は3,525,313千円と前年同期と比べ612,102千円(21.0%増)の増収、営業利益は539,182千円と前年同期と比べ87,276千円(19.3%増)の増益となりました。

② 健康食品事業

OEMゼリーにおいて、主力製品を含む複数の既存製品において委託元の販売が振るわず、受注が落ち込みました。新規OEM案件の立ち上げを進め、テレビ通販での自社製品の販売も好調に推移しましたが、前述の売上減少を補うには至りませんでした。また、売上減少に伴い工場稼働率が低下した結果、利益が減少しました。

その結果、健康食品事業における売上高は657,713千円と前年同期と比べ166,285千円(20.2%減)の減収、営業損失は120,257千円と前年同期と比べ121,496千円(前年同期は1,238千円の営業利益)の減益となりました。

③ 化学品事業

イオン交換樹脂については、半導体製造や医薬品製造向けの自社加工品の売上が順調に推移しました。当事業年度は装置案件の大型案件の受注が乏しい状況でしたが、来期以降の受注増に向けた営業活動に積極的に投資しました。また、将来の売上に繋げるべく、事業部として開発費への積極的な投資も継続しております。

その結果、化学品事業における売上高は2,108,351千円と前年同期と比べ164,462千円(8.5%増)の増収、営業損失は49,511千円(前年同期は15,803千円の営業損失)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における総資産は、前事業年度末に比べて150,240千円増加し、4,948,311千円となりました。

① 流動資産

商品及び製品が115,835千円増加、電子記録債権が66,687千円増加、受取手形が92,902千円減少したことなどから、前事業年度末に比べて87,316千円増加し、3,581,996千円となりました。

② 固定資産

投資有価証券が56,836千円増加、建物が36,741千円増加、無形固定資産が29,805千円増加、繰延税金資産が48,979千円減少したことなどから、前事業年度末に比べて62,924千円増加し、1,366,315千円となりました。

③ 流動負債

短期借入金が200,000千円減少、買掛金が44,817千円減少、電子記録債務が44,157千円増加、未払金が35,000千円増加したことなどから、前事業年度末に比べて169,818千円減少し、2,055,535千円となりました。

④ 固定負債

長期借入金が89,120千円増加したことなどから、前事業年度末に比べて85,910千円増加し、977,546千円となりました。

なお、2022年8月26日開催の第76回定時株主総会におきまして、役員退職慰労金制度の廃止に伴う打ち切り支給が承認可決されたため、固定負債の役員退職慰労引当金の未払い分を長期未払金に振替えております。

⑤ 純資産

繰越利益剰余金が185,524千円増加、自己株式が59,832千円増加したことなどから、前事業年度末に比べて234,148千円増加し、1,915,229千円となりました。

その結果、自己資本比率は38.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は852,606千円となり、前事業年度末に比べ12,754千円減少しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、317,189千円の収入（前年同期は524,905千円の収入）となりました。これは主に、税引前当期純利益350,900千円、減価償却費122,264千円などによるキャッシュの増加、棚卸資産の増加額97,033千円、仕入債務の減少額48,263千円などによるキャッシュの減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、162,408千円の支出（前年同期は176,280千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出59,774千円、無形固定資産の取得による支出50,502千円、投資有価証券の取得による支出44,147千円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、172,390千円の支出（前年同期は483,635千円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入300,000千円、長期借入金の返済による支出217,480千円、短期借入金の減少による支出200,000千円、配当金の支払いによる支出70,615千円などによるものです。

(4) 今後の見通し

先の見えないウクライナ情勢や世界的なインフレにより、当面は原材料価格の上昇や円安傾向が継続すると見込んでおります。

このような状況の中、当社は2023年5月期を初年度として策定した3か年の中期経営計画に沿って企業活動を進めております。「健康」と「環境」をテーマに社会へ貢献するソリューション企業として、継続的な成長と企業価値向上に向け邁進してまいります。

次期につきましては、医薬品事業の輸入原薬において、前期好調だった抗てんかん薬の売上が鈍ることによる売上減少を見込んでいるものの、健康食品事業のOEMゼリー及び化学品事業のイオン交換樹脂や装置の新規製品の拡販により、会社全体としては今期並みの売上を維持する見込みです。営業利益については、製造効率及び営業効率を改善することで今期からの改善を見込んでおります。原材料・燃料価格の上昇や為替の影響については、想定される影響を業績予想に織り込んでおりますが、想定を超える変動があった場合は、業績に影響を及ぼす可能性があります。

中長期的な成長を遂げるためには、既存品の伸長のみならず新たな商品の開発・立ち上げが不可欠です。将来を見据えた活動にいっそう注力し、新製品の立ち上げ・新規案件の獲得を加速させていく方針です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年5月31日)	当事業年度 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	865,361	852,606
受取手形	159,439	66,537
電子記録債権	562,555	629,243
売掛金	964,143	978,426
契約資産	17,497	12,643
商品及び製品	470,743	586,578
仕掛品	28,347	41,027
原材料及び貯蔵品	380,241	348,758
前渡金	13,723	2,284
前払費用	17,770	18,610
その他	14,856	45,280
流動資産合計	3,494,680	3,581,996
固定資産		
有形固定資産		
建物	821,679	888,570
減価償却累計額	△468,215	△498,365
建物（純額）	353,463	390,205
構築物	171,278	172,465
減価償却累計額	△144,298	△149,281
構築物（純額）	26,980	23,184
機械及び装置	1,263,944	1,352,804
減価償却累計額	△1,117,048	△1,168,907
機械及び装置（純額）	146,895	183,897
車両運搬具	15,191	15,401
減価償却累計額	△14,502	△14,303
車両運搬具（純額）	688	1,098
工具、器具及び備品	273,606	307,074
減価償却累計額	△253,649	△263,881
工具、器具及び備品（純額）	19,956	43,192
一括償却資産	2,424	2,053
土地	260,431	260,431
リース資産	7,530	7,530
減価償却累計額	△5,371	△6,133
リース資産（純額）	2,159	1,397
建設仮勘定	95,054	6,478
有形固定資産合計	908,054	911,939
無形固定資産		
ソフトウェア	18,129	59,076
ソフトウェア仮勘定	21,902	10,761
無形固定資産合計	40,031	69,837

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年5月31日)	当事業年度 (2023年5月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	44,111	100,947
出資金	30	30
長期前払費用	20,467	35,576
繰延税金資産	231,436	182,456
その他	59,259	65,526
投資その他の資産合計	355,304	384,538
固定資産合計	1,303,391	1,366,315
資産合計	4,798,071	4,948,311

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年5月31日)	当事業年度 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	41,818	29,246
電子記録債務	131,492	175,650
買掛金	664,230	619,412
短期借入金	700,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	202,480	195,880
リース債務	838	838
未払金	47,960	82,960
未払費用	101,421	104,202
未払法人税等	25,680	40,528
契約負債	29,942	33,234
預り金	29,285	29,744
賞与引当金	183,383	191,125
その他	66,821	52,710
流動負債合計	2,225,354	2,055,535
固定負債		
長期借入金	783,080	872,200
リース債務	1,536	698
退職給付引当金	18,300	20,048
役員退職慰労引当金	60,965	-
長期未払金	-	56,845
資産除去債務	26,227	26,227
その他	1,527	1,527
固定負債合計	891,636	977,546
負債合計	3,116,990	3,033,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,172	143,172
資本剰余金		
資本準備金	83,172	83,172
その他資本剰余金	602,809	582,696
資本剰余金合計	685,981	665,869
利益剰余金		
利益準備金	13,302	13,302
その他利益剰余金		
別途積立金	350,000	350,000
固定資産圧縮積立金	2,174	2,032
繰越利益剰余金	586,561	772,085
利益剰余金合計	952,038	1,137,420
自己株式	△109,777	△49,944
自己株式申込証拠金	-	223
株主資本合計	1,671,415	1,896,740
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,664	18,488
評価・換算差額等合計	9,664	18,488
純資産合計	1,681,080	1,915,229
負債純資産合計	4,798,071	4,948,311

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当事業年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
売上高		
製品売上高	3,517,111	3,032,976
商品売上高	2,163,987	3,258,402
売上高合計	5,681,099	6,291,379
売上原価		
製品売上原価		
製品期首棚卸高	245,864	207,888
当期製品製造原価	2,229,336	2,189,108
合計	2,475,201	2,396,996
製品期末棚卸高	207,888	264,548
製品売上原価	2,267,312	2,132,448
商品売上原価		
商品期首棚卸高	210,516	262,854
当期商品仕入高	1,733,319	2,466,049
合計	1,943,835	2,728,904
商品期末棚卸高	262,854	322,030
商品売上原価	1,680,980	2,406,873
売上原価合計	3,948,293	4,539,322
売上総利益	1,732,806	1,752,057
販売費及び一般管理費		
役員報酬	132,150	138,300
給料及び手当	449,579	453,910
法定福利費	103,399	105,608
賞与引当金繰入額	100,596	104,159
退職給付費用	13,940	15,433
株式報酬費用	3,544	10,653
役員退職慰労引当金繰入額	12,400	-
減価償却費	23,273	29,810
研究開発費	29,027	33,070
その他	427,552	491,697
販売費及び一般管理費合計	1,295,464	1,382,643
営業利益	437,341	369,413
営業外収益		
受取利息	4	38
受取配当金	1,587	1,569
保険金収入	3,766	6,904
受取補償金	2,000	-
スクラップ売却益	1,158	-
その他	1,935	4,320
営業外収益合計	10,452	12,832
営業外費用		
支払利息	17,007	17,690
為替差損	5,454	12,582
支払手数料	1,754	1,000
その他	536	82
営業外費用合計	24,752	31,356

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当事業年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
経常利益	423,041	350,890
特別利益		
固定資産売却益	3,947	9
特別利益合計	3,947	9
特別損失		
固定資産除却損	1,384	0
特別損失合計	1,384	0
税引前当期純利益	425,603	350,900
法人税、住民税及び事業税	37,041	49,482
法人税等調整額	△67,710	45,114
法人税等合計	△30,668	94,597
当期純利益	456,272	256,302

製造原価明細書

【製造原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)		当事業年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 材料費	※1	1,238,098	56.6	1,219,474	55.4
II 労務費		584,618	26.7	592,101	26.9
III 経費		364,623	16.7	390,212	17.7
当期総製造費用		2,187,340	100.0	2,201,787	100.0
仕掛品期首棚卸高		70,343		28,347	
合計		2,257,683		2,230,135	
仕掛品期末棚卸高		28,347		41,027	
当期製品製造原価		2,229,336		2,189,108	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
外注加工費	61,653	54,223
減価償却費	77,960	92,454
修繕費	23,920	29,718
消耗品費	38,934	40,141

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、総合原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	143,172	83,172	600,629	683,802	7,804	350,000	2,397	190,545
当期変動額								
利益準備金の積立					5,498			△5,498
剰余金の配当								△54,982
固定資産圧縮積立金の取崩							△223	223
当期純利益								456,272
自己株式の取得								
自己株式の処分(新株予約権の行使)			△19,756	△19,756				
譲渡制限付株式報酬			21,936	21,936				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	2,179	2,179	5,498	-	△223	396,015
当期末残高	143,172	83,172	602,809	685,981	13,302	350,000	2,174	586,561

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	自己株式	自己株式申込証拠金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	利益剰余金合計						
当期首残高	550,748	△58,133	-	1,319,589	14,411	14,411	1,334,001
当期変動額							
利益準備金の積立	-			-			-
剰余金の配当	△54,982			△54,982			△54,982
固定資産圧縮積立金の取崩	-			-			-
当期純利益	456,272			456,272			456,272
自己株式の取得		△87,641		△87,641			△87,641
自己株式の処分(新株予約権の行使)		33,294		13,537			13,537
譲渡制限付株式報酬		2,703		24,640			24,640
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					△4,747	△4,747	△4,747
当期変動額合計	401,290	△51,643	-	351,826	△4,747	△4,747	347,079
当期末残高	952,038	△109,777	-	1,671,415	9,664	9,664	1,681,080

当事業年度(自 2022年6月1日 至2023年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	143,172	83,172	602,809	685,981	13,302	350,000	2,174	586,561
当期変動額								
利益準備金の積立								
剰余金の配当								△70,920
固定資産圧縮積立金の取崩							△141	141
当期純利益								256,302
自己株式の取得								
自己株式の処分(新株予約権の行使)			△37,460	△37,460				
譲渡制限付株式報酬			17,347	17,347				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	△20,112	△20,112	-	-	△141	185,524
当期末残高	143,172	83,172	582,696	665,869	13,302	350,000	2,032	772,085

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	自己株式	自己株式申込証拠金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	利益剰余金合計						
当期首残高	952,038	△109,777	-	1,671,415	9,664	9,664	1,681,080
当期変動額							
利益準備金の積立							
剰余金の配当	△70,920			△70,920			△70,920
固定資産圧縮積立金の取崩	-			-			-
当期純利益	256,302			256,302			256,302
自己株式の取得		△42		△42			△42
自己株式の処分(新株予約権の行使)		53,822	223	16,585			16,585
譲渡制限付株式報酬		6,052		23,400			23,400
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					8,824	8,824	8,824
当期変動額合計	185,382	59,832	223	225,324	8,824	8,824	234,148
当期末残高	1,137,420	△49,944	223	1,896,740	18,488	18,488	1,915,229

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当事業年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	425,603	350,900
減価償却費	101,233	122,264
株式報酬費用	3,936	10,908
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,074	7,741
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,155	1,748
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△71,600	△60,965
受取利息及び受取配当金	△1,592	△1,607
支払利息	17,007	17,690
自己株式取得費用	754	-
為替差損益 (△は益)	-	△4,854
固定資産除却損	1,384	0
固定資産売却損益 (△は益)	△3,947	△9
売上債権の増減額 (△は増加)	△85,423	11,932
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△22,558	△97,033
仕入債務の増減額 (△は減少)	270,999	△48,263
長期未払金の増減額 (△は減少)	-	56,845
その他の資産の増減額 (△は増加)	△28,241	△1,655
その他の負債の増減額 (△は減少)	12,358	2,332
小計	602,995	367,974
利息及び配当金の受取額	1,592	1,607
利息の支払額	△16,805	△17,633
法人税等の支払額	△62,877	△34,759
営業活動によるキャッシュ・フロー	524,905	317,189
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△146,107	△59,774
有形固定資産の売却による収入	3,947	10
無形固定資産の取得による支出	△24,225	△50,502
投資有価証券の取得による支出	△2,108	△44,147
敷金及び保証金の差入による支出	△886	△243
敷金及び保証金の回収による収入	423	773
保険積立金の積立による支出	△5,648	△5,648
その他	△1,674	△2,875
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176,280	△162,408
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150,000	△200,000
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	△202,480	△217,480
リース債務の返済による支出	△1,452	△838
自己株式の取得による支出	△88,396	△42
ストックオプションの行使による収入	13,537	16,585
配当金の支払額	△54,845	△70,615
財務活動によるキャッシュ・フロー	△483,635	△172,390
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	4,854
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△135,011	△12,754
現金及び現金同等物の期首残高	1,000,373	865,361
現金及び現金同等物の期末残高	865,361	852,606

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「医薬品事業」、「健康食品事業」及び「化学品事業」の三つの事業を柱とし、それぞれの事業ごとに取り扱う製品・商品について事業計画を立案し、展開しているため、当社は、「医薬品事業」、「健康食品事業」及び「化学品事業」の三つを報告セグメントとしております。

「医薬品事業」は、原薬の販売・製造を主体としており、「健康食品事業」はスティックゼリータイプの健康食品の企画・製造を主体としております。また、「化学品事業」は、液体処理関連製品の販売・加工を主体としております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	財務諸表 計上額
	医薬品事業	健康食品事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,913,210	823,998	1,943,889	5,681,099	—	5,681,099
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,913,210	823,998	1,943,889	5,681,099	—	5,681,099
セグメント利益又は 損失(△)	451,906	1,238	△15,803	437,341	—	437,341
セグメント資産	1,976,938	398,913	1,155,203	3,531,054	1,267,016	4,798,071
その他の項目						
減価償却費	35,609	10,840	54,784	101,233	—	101,233
有形固定資産及び無 形固定資産の増減額	58,211	116,314	38,816	213,342	—	213,342

(注) セグメント資産の調整額1,267,016千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余資運用資金(現金及び預金)、繰延税金資産等であります。

当事業年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	財務諸表 計上額
	医薬品事業	健康食品事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,525,313	657,713	2,108,351	6,291,379	—	6,291,379
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,525,313	657,713	2,108,351	6,291,379	—	6,291,379
セグメント利益又は 損失(△)	539,182	△120,257	△49,511	369,413	—	369,413
セグメント資産	2,018,272	394,763	1,231,954	3,644,991	1,303,320	4,948,311
その他の項目						
減価償却費	44,635	27,530	50,098	122,264	—	122,264
有形固定資産及び無 形固定資産の増減額	127,588	17,188	36,596	181,373	—	181,373

(注) セグメント資産の調整額1,303,320千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余資運用資金(現金及び預金)、繰延税金資産等であります。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当事業年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
1株当たり純資産額	450.37円	487.25円
1株当たり当期純利益	123.79円	67.94円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	112.56円	64.12円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当事業年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	456,272	256,302
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	456,272	256,302
普通株式の期中平均株式数(株)	3,685,714	3,772,437
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	367,881	224,833
(うち新株予約権(株))	(367,881)	(224,833)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度末 (2022年5月31日)	当事業年度末 (2023年5月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,681,080	1,915,229
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	223
(うち自己株式申込証拠金(千円))	(—)	(223)
普通株式に係る期末純資産額(千円)	1,681,080	1,915,006
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,732,650	3,930,224

(重要な後発事象)

該当事項はありません。